TravelMate シリーズ

汎用ユーザーガイド

本製品を安全かつ快適にお使いいただくために

安全に関するご注意

以下の内容を良くお読み頂き、指示に従ってください。この文書は将来いつでも参照できるように保管しておいてください。本製品に表示されているすべての警告事項および注意事項を遵守してください。

製品のお手入れを始める前に、電源を切ってください。

本製品を清掃するときは、AC アダプタとバッテリを外してください。液体クリーナーまたはエアゾールクリーナーは使用しないでください。水で軽く湿らせた布を使って清掃してください。

装置取り外しの際のプラグに関するご注意

電源コードを接続したり、外したりする際は、次の点にご注意ください。

コンセントに電源コードを接続する前に、電源ユニットを装着してください。

コンピュータから電源ユニットを外す前に、電源コードを外してください。

システムに複数の電源が接続されている場合は、電源からすべての電源コードを外してください。

アクセスに関するご注意

電源コードを接続するコンセントは、装置からできるだけ近く、簡単に手が届く場所にあることが理想的です。装置から電源を外す場合は、必ずコンセントから電源コードを外してください。

メモリカードスロットのダミーカードについてのご注意 (特定モデルのみ)

このコンピュータにはカードスロットにプラスチック製のダミーカードが挿入されています。このダミーカードは使用されていないスロットにゴミや金属の異物、その他ホコリなどが入るのを防止するために挿入されています。ダミーカードはスロットにメモリカードを挿入していない時に使用できるよう保存しておいてください。

音量に関するご注意

聴覚障害を引き起こさないために、次の指示に従ってください。

- 音量を上げるときには、適度なレベルになるまで少しずつ音量を調整してください。
- 耳が音に慣れた後は、音量を上げないでください。
- 長時間高音量で音楽を聴かないでください。
- 周囲のノイズを遮断しようとして、それ以上に高音で音楽を聴かないでください。
- 近くで人が話している声が聞こえない程のレベルに音量を上げないでください。

警告

- 本製品が水溶液に触れるおそれのある所で使用しないでください。
- 本製品は、安定したテーブルの上に置いてください。不安定な場所に設置すると製品が落下して、重大な損傷を招く恐れがありますのでご注意ください。
- スロットおよび通気孔は通気用に設けられています。これによって製品の確実な動作が保証され、過熱が防止されています。これらをふさいだり、カバーをかけたりしないでください。ベッド、ソファーなどの不安定な場所に設置して、これらがふさがることがないようにしてください。本製品は、暖房器の近くでは絶対に使用しないでください。また、適切な通風が保証されないかぎり、本製品をラックなどに組み込んで使用することは避けてください。
- 本体のスロットから物を押し込まないでください。高圧で危険な個所に触れたり部品がショートしたりして、火災や感電の危険を招く恐れがあります。
- 内部パーツが破損したり、バッテリー液が漏れたりする場合がありますので、本製品は必ず安定した場所に設置してください。
- 振動の強い環境で使用すると、予想しない電源ショートが発生したり、ルーター装置、HDD またはフラッシュメモリドライブ、光学ドライブなどが故障したり、あるいはリチウムバッテリーが爆発したりする危険性があります。
- 製品の底部、通気孔周囲、AC アダプタは高温になる場合があります。火傷を防止するために、製品が作動している間はこれらに触れないでください。
- この装置およびそのアクセサリ類には小さいパーツが含まれている場合があります。これらの部品は、お子様の手の届かない場所に保管しておいてください。

電力の使用

- ラベルに表示されている定格電圧の電源をご使用ください。ご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーサービスセンターまたは現地の電気会社にお問い合わせください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードは踏んだり引っ掛けやすいところに配置しないでください。
- 延長コードを使うときは、延長コードに接続された電気製品の定格電流の合計が延長コードに表示された許容の定格電流以下になるように注意してください。また、コンセントに差し込んだすべての製品が定格電流の合計の許容範囲を超えないようにご注意ください。
- 複数の装置を 1 つのコンセントやストリップ、ソケットに接続すると負荷がかかりすぎてしまいます。システム全体の負荷は、支路の 80% を目安にこれを超えないようにしてください。電源ストリップを使用する場合は、電源ストリップの入力値の 80% を越えないようにしてください。
- 本製品の AC アダプタにはアース線付き 2 ピン電源プラグが付いています。電源プラグのアース端子をコンセントのアース端子に接続することをお勧めします。機器の故障により、万一漏電した場合でも感電を防止することができます。

警告！接地ピンは安全対策用に設けられています。正しく接地されていないコンセントを使用すると、電気ショックや負傷の原因となります。

注意：アースは、本製品とその近くにある他の電気装置との干渉により生じるノイズを防止する役割も果たします。

- システムは 100 から 120 ボルト、または 220 から 240 ボルトで使用することができます。システムに同梱されている電源コードは、システムを購入された国 / 地域の規格に準拠したものです。海外 / その他の地域でシステムをご使用になる場合は、その場所の規格に合った電源コードをお使いください。電源コードの規格についての詳細は、専門販売店、またはサービスプロバイダーにお問い合わせください。

補修

お客様ご自身で修理を行わないでください。本製品のカバーを開けたりはずしたりすると、高圧で危険な個所に触れたりその他の危険にさらされるおそれがあります。本製品の修理に関しては、保証書に明示されているカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

次の場合、本製品の電源を OFF にし、コンセントからプラグを引き抜き、保証書に明示されているカスタマーサービスセンターにご連絡ください。

- 電源コードまたはプラグが損傷したり擦り切れたりしたとき。
- 液体が本製品にこぼれたとき。
- 本製品が雨や水にさらされたとき。
- ユーザは、操作指示として述べられている個所だけを調整してください。
  それ以外の部分を間違って調整した場合、障害が生じ、正常動作の状態に戻すまで必要以上に時間がかかることがありますのでご注意ください。
- 本製品を落としたとき、またはケースが損傷したとき。
- 本製品に問題が生じ、サービスを必要とするとき。

注意：取り扱い説明書に記載されている場合を除き、その他のパーツを無断で調整するとパーツが破損する場合があります。その場合、許可を受けた技術者が補修する必要があるため正常の状態に戻すまでに時間がかかります。

バッテリーの安全な使用について

本製品はリチウムイオンバッテリーを使用します。湿気の多い場所、濡れた場所、あるいは腐食性のある環境では使用しないでください。バッテリーは熱源の近く、高温になる場所、直射日光が当たる場所、オーブンレンジ内、あるいは密封パック内の中に置いたり、保管したり、放置したりしないでください。また 60°C (140°F) 以上の環境に放置することもお止めください。これらの注意に従わなければ、バッテリーから酸が漏れ出し、高温になったり、爆発、発火するなどしてケガや損傷の原因となります。バッテリーに穴を開けたり、開いたり、解体したりしないでください。漏れ出したバッテリー液に触れてしまった場合は、水で完全に液を洗い流し、直ちに医者の指示を仰いでください。安全のため、またバッテリーを長くお使いいただくために、0°C (32°F) 以下または 40°C (104°F) 以上の環境では充電を行わないでください。

新しいバッテリーは 2、3 回完全な充電と放電を繰り返した後でなければ完全な性能を発揮しません。バッテリーは数百回充放電を繰り返すことができますが、最終的には消耗してしまいます。作動時間が著しく短くなったときには、新しいバッテリーに交換してください。バッテリーは認証されたものをご使用になり、充電の際も本製品専用の充電器のみをご使用ください。

バッテリーは目的に合わせてご使用ください。破損した充電器やバッテリーは絶対にご使用にならないでください。バッテリーをショートさせないでください。バッテリーはコイン、クリップ、ペンなどの金属製品がバッテリーの陽極と陰極に直接触れるとショートします。(バッテリーについている金属片のようなものが陽極 / 陰極です。) 例えば予備のバッテリーをポケットやバッグの中などに入れておいた場合などに、ショートする可能性が高くなります。ショートが発生すると、バッテリーや接触した製品の故障の原因となります。

バッテリーを高温または低温の場所 (夏や冬の車内など) に放置すると、バッテリーの性能および寿命は低下します。バッテリーは常に 15°C から 25°C (59°F から 77°F) の環境で保管するようにしてください。熱すぎたり、冷たすぎたりするバッテリーを使用すると、たとえバッテリーが完全に充電されていても、製品が一時的に使用できなくなる場合があります。凍結するような環境では、バッテリーの性能が特に低下します。

バッテリーを火の中に投げ込むと爆発する恐れがあります。バッテリーが破損している場合も爆発する可能性があります。ご使用済みバッテリーはお住まい地域の規定にしたがって処理してください。できる限りリサイクルにご協力ください。
バッテリーは家庭用ゴミとして破棄しないでください。

ワイヤレス装置はバッテリーの干渉を受けやすく、性能に影響を及ぼす場合があります。

電池の交換

ノート PC シリーズはリチウムバッテリーを使用しています。電池を交換する場合は、必ず本製品に付属している電池と同じタイプのものを使用してください。タイプの異なるバッテリーを使用すると、火災や爆発の危険が生じることがあります。

警告！バッテリーを誤って使用されますと爆発の危険があります。分解したり、火に投げ入れたりしないでください。バッテリはお子様の手の届かないところに保管し、使用済みバッテリは速やかに廃棄してください。使用済み電池は、お住まい地域の規定にしたがって処理してください。

光学ドライブ装置についての注意 (特定モデルのみ)

注意：この装置にはレーザーシステムが含まれており、「クラス 1 レーザー製品」として分類されています。この製品に関して問題が生じた場合は、お近くの専門サービスセンターまでお問い合わせください。被曝を防止するために、お客様ご自身で外装を開かないでください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
CAUTION: INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.

APPAREIL A LASER DE CLASSE 1 PRODUIT
LASERATTENTION: RADIATION DU FAISCEAU LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EVITTER TOUTE EXPOSITION AUX RAYONS.

LUOKAN 1 LASERLAITE LASER KLASSE 1
VORSICHT: UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET NICHT DEM STRAHLL AUSSETZEN

PRODUCTO LÁSER DE LA CLASE I
ADVERTENCIA: RADIACIÓN LÁSER INVISIBLE AL SER ABIERTO. EVITE EXPONERSE A LOS RAYOS.

ADVARSEL: LASERSTRÅLING VEDÅBNING SE IKKE IND I STRÅLEN.

VARO! LAVATTAESSA OLET ALTTINA LASERSÅTEILYLLE.
VARNING: LASERSTRÅLNING NÅR DENNA DEL ÅR ÖPPNAD ÅLÅ TUIJOTA SÅTEESEENSTIRRA EJ IN I STRÅLEN

VARNING: LASERSTRÅLNING NAR DENNA DEL ÅR ÖPPNADSTIRRA EJ IN I STRÅLEN

ADVARSEL: LASERSTRÅLING NAR DEKSEL ÅPNESSTIRR IKKE INN I STRÅLEN

電話回線

- 本製品を修理したり、解体したりする前に、必ずすべての電話回線をソケットから外してください。
- 天候が非常に悪いときには､電話回線 (コードレスタイプを除く) のご使用は控えてください。落雷による感電の原因となります。

警告！パーツを追加したり、交換したりする場合は、安全のために必ず互換性があるパーツをお使いください。オプションパーツの購入については、販売店にお尋ねください。

操作環境

警告！安全のために、次のような状況でラップトップコンピュータを使用する場合はワイヤレス装置や無線装置をすべて切ってください。これらの装置とは次のものを含みますが、それだけに限りません。無線 LAN (WLAN)、ブルートゥース、3G。

お住まい地域の規定にしたがってください。また使用が禁止されている場所または干渉や危険を引き起こす可能性がある場所では、必ず装置の電源を切ってください。装置は必ず正常な操作位置でご使用ください。この装置は正常な状態で使用するとき RF 被爆規定に準拠します。装置とアンテナは使用者から 1.5 センチ以上離れた場所に設置してください。金属は絶対に使用せず、装置は上記に記載した条件で設置してください。データファイルやメッセージを転送するには、ネットワーク接続の状態が良くなければなりません。場合によっては、接続が使用できるようになるまでデータファイルやメッセージの転送が遅れる場合があります。転送が完了するまで、上記の距離に関する指示に従ってください。装置の一部は磁気になっています。装置が金属を引き付ける場合がありますので、聴覚保護装置をお使いの方は、聴覚保護装置を使用した耳にこの装置を当てないでください。

装置の近くにクレジットカードやその他の磁気記憶装置を置かないでください。それらに保管されている情報が消去される場合があります。

医療装置

ワイヤレス電話を含む無線通信装置を操作すると、保護が不十分な医療装置の機能に障害を与える恐れがあります。それらが外部無線周波から適切に保護されているかどうかについて、またその他のご質問については、医師または医療装置メーカーにお尋ねください。医療施設内で装置の電源を切ることが指示されている場合は、その指示にしたがってください。病院や医療施設では、外部無線周波の影響を受けやすい装置を使用している場合があります。

ペースメーカー：ペースメーカーの製造元は、ペースメーカーとの干渉を防止するために、ワイヤレス装置とペースメーカーの間に 15.3 センチ以上の距離を置くよう推奨しています。独立したリサーチ機関、およびワイヤレス技術リサーチ機関も同様の推奨をしています。ペースメーカーをご使用の方は、次の指示にしたがってください。

- 装置とペースメーカーの間には必ず 15.3 センチ以上の距離を保ってください。
- 装置の電源が入っているときには、ペースメーカーの近くに装置を置かないでください。干渉が生じていることが予想される場合は、装置の電源を切り、別の場所に保管してください。

聴覚補助装置：デジタル無線装置の中には、聴覚補助装置と干渉を起こすものがあります。干渉を起こす場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

乗り物

無線周波信号は、電子燃料注入システム、電子滑り止め、ブレーキシステム、電子速度制御システム、エアバッグシステムなどのモーター自動車に不正に装着された電子システムや、防止が不十分な電子システムに影響を与える場合があります。詳細については、自動車または追加した装置のメーカーまたはその代理店にご確認ください。装置の補修、および自動車への装置の取り付けは指定された技術者が行ってください。補修や装着は正しく行わなければ大変危険であり、装置に付帯された保証を受けることができなくなります。自動車の無線装置はすべて、正しく装着されていることと、正常に作動していることを定期的にチェックしてください。装置、そのパーツ、またはアクセサリ類と同じ場所に可燃性液体、ガス、あるいは爆発の危険性がある素材を一緒に保管したり、運送したりしないください。エアバッグが搭載された自動車は強い衝撃を受けるとエアバッグが膨らみます。エアバックの上またはエアバッグが膨らむ場所に無線装置 (装着済みまたは携帯用を含む) などを設置しないでください。車内に無線装置が正しく装着されておらず、エアバッグが作動してしまった場合は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。飛行機内でこの装置を使用することは禁止されています。搭乗前に装置の電源を切ってください。機内で無線電話装置を使用すると、飛行機の操縦に危害を与えたり、無線電話ネットワークを中断させたりする場合があり、法律により禁止されている場合もあります。

爆発の可能性がある環境

爆発の危険性がある場所では、かならず装置の電源を切り、表示されている注意や指示にしたがってください。爆発の危険性がある場所とは、通常自動車のエンジンを切るよう指示される場所を含みます。このような場所でスパークすると爆発や火災の原因となり、身体に傷害を与えたり、死亡に至る場合もあります。ガソリンスタンドの給油場所の近くでは、ノートブックの電源は切っておいてください。燃料補給所、貯蔵所、配送エリア、化学工場、爆発性の作業が行われている場所では、無線装置の使用に関する規定にしたがってください。爆発の危険性がある場所には、通常 (ただし必ずではありません) そのことが明記されています。そのような場所とは、船舶の船室、化学薬品の運送または貯蔵施設、液体石油ガス (プロパンガスまたはブタンガス) を使用する自動車、粒子、ホコリ、あるいは金属粉末などの化学物質や粒子を空中に含む場所などが含まれます。携帯電話の使用が禁止されている場所、または干渉を生じさせたり、危険がある場所では、ノートブックの電源を入れないでください。

緊急電話

警告：この装置から緊急電話を掛けることはできません。緊急電話は携帯電話かその他の電話システムからお掛けください。

日本語

破棄について

この電子装置は家庭用ゴミとして廃棄しないでください。
地球環境を保護し、公害を最低限に留めるために、再利用にご協力ください。WEEE (Waste from Electrical and Electronics Equipment) 規定についての詳細は、
www.acer-group.com/public/Sustainability/sustainability01.htm をご参照ください。

水銀についての注意

内部に電球があるプロジェクタまたはディスプレイを含む電子製品の場合：この製品に使用されるランプには水銀が含まれているため、お住まい地域、都道府県、国の法律に従って、正しくリサイクルまたは破棄しなければなりません。詳しくは、Electronic Industries Alliance (**www.eiae.org**) にお問い合わせください。
ランプの破棄については、**www.lamprecycle.org** をご覧ください。

ENERGY STAR

Acer の ENERGY STAR 準拠製品は、消費電力を抑え、機能性や性能に影響を与えることなく環境を保護します。Acer は自信を持って、ENERGY STAR ロゴが付いた製品をお届けします。

ENERGY STARって何？

ENERGY STAR 規格に準拠した製品は、米国環境保護局が設定した厳格なエネルギー効果指南に基づき、消費電力量を抑え、温暖化ガスの発生を最低限に抑えます。Acer は製品およびサービスを国際的に提供することで、お客様がお金とエネルギーを節約し、地球環境を向上できるように努力します。詳しくは、**www.energystar.gov** または **www.energystar.gov/powermanagement** をご参照ください。

Acer ENERGY STAR 準拠製品の特徴：(特定モデルのみ)

- 発熱量が少なく、冷却量が少なくて済むため、地球の温暖化防止に役立ちます。
- コンピュータが無作動の状態が一定時間続くと、自動的にディスプレイが 10 分後に「スリープ」モードに、コンピュータが 30 分後に「スリープ」モードに入ります。
- キーボードのキーを押すか、マウスを動かすと、コンピュータは「スリープ」モードから復帰します。
- コンピュータは「スリープ」モードのとき、80% 以上のエネルギーを節約します。

ENERGY STAR および ENERGY STAR 記号は、米国の登録記号です。

気持ちよくお使いいただくために

長時間コンピュータを操作すると、目や頭が痛くなる場合があります。また身体的な障害を被る場合もあります。長時間に及ぶ操作、姿勢の悪さ、作業習慣の悪さ、ストレス、不適切な作業条件、個人の健康状態、あるいはその他の要素によって、身体的な障害が生じる確率は高くなります。

コンピュータは正しく使用しなければ、手根管症候群、腱炎、腱滑膜炎、その他の筋骨格関連の障害を引き起こす可能性があります。手、手首、腕、肩、首、背中に次のような症状が見られる場合があります。

- 麻痺、ヒリヒリ、チクチクするような痛み。
- ズキズキする痛み、疼き、触ると痛い。
- 苦痛、腫れ、脈打つような痛さ。
- 凝り、緊張。
- 寒気、虚弱。

このような症状が見られたり、その他の症状が繰り返しまたは常にある場合、またはコンピュータを使用すると生じる痛みがある場合は、直ちに医者の指示に従ってください。

次のセクションでは、コンピュータを快適に使用するためのヒントを紹介します。

心地よい作業態勢に整える

最も心地よく作業ができるように、モニタの表示角度を調整したり、フットレストを使用したり、椅子の高さを調整してください。次のヒントを参考にしてください。

- 長時間同じ姿勢のままでいることは避けてください。
- 前屈みになりすぎたり、後ろに反りすぎたりしないようにしてください。
- 足の疲れをほぐすために、定期的に立ち上がったり歩いたりしてください。
- 短い休憩を取り首や肩の凝りをほぐしてください。
- 筋肉の緊張をほぐしたり、肩の力を抜いたりしてください。
- 外部ディスプレイ、キーボード、マウスなどは快適に操作できるように適切に設置してください。
- 文書を見ている時間よりもモニタを見ている時間の方が長い場合は、ディスプレイを机の中央に配置することで首の凝りを最小限に留めることができます。

視覚についての注意

長時間モニタを見たり、合わない眼鏡やコンタクトレンズを使用したり、グレア、明るすぎる照明、焦点が合わないスクリーン、小さい文字、低コントラストのディスプレイなどは目にストレスを与える原因となります。次のセクションでは、目の疲れをほぐすためのヒントを紹介します。

目

- 頻繁に目を休ませてください。
- モニタから目を離して遠くを見ることによって目を休ませてください。
- 頻繁に瞬きをするとドライアイから目を保護することができます。

ディスプレイ

- ディスプレイは清潔に保ってください。
- ディスプレイの中央を見たときに若干見下ろす形になるように、ディスプレイの上端よりも頭の位置が高くなるようにしてください。
- ディスプレイの輝度やコントラストを適切に調整することにより、テキストの読みやすさやグラフィックの見易さが向上されます。
- 次のような方法によってグレアや反射を防止してください。
    - 窓や光源に対して横向きになるようにディスプレイを設置してください。
    - カーテン、シェード、ブラインドなどを使って室内の照明を最小化してください。
    - デスクライトを使用してください。
    - ディスプレイの表示角度を調整してください。
    - グレア縮減フィルタを使用してください。
    - ディスプレイの上部に厚紙を置くなどしてサンバイザーの代わりにしてください。
- ディスプレイを極端な表示角度で使用することは避けてください。
- 長時間明るい光源を見つめないでください。

正しい作業習慣を身に付ける

次のような習慣でコンピュータを使用すると、よりリラックスした状態で作業を行うことが可能になり、生産性も向上します。

- 定期的かつ頻繁に短い休憩を取ってください。
- ストレッチ運動をしてください。
- できるだけ頻繁に新鮮な空気を吸ってください。
- 定期的に運動をして身体の健康を維持してください。

警告！ソファーやベッドの上でコンピュータを操作することはお薦めしません。どうしてもその必要がある場合は、できるだけ短時間で作業を終了し、定期的に休憩を取ったりストレッチ運動をしたりしてください。

注意：詳しくは、**49 ページの「規制と安全通知」**を参照してください。

始めに

この度は、Acer ノートブック PC をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ガイド

本製品を快適にご使用いただくために、次のガイドが提供されています。

初めての方は、**セットアップポスター**の解説に従ってコンピュータを設定してください。

TravelMate シリーズ汎用ユーザーガイドには、TravelMate シリーズの全モデルに共通の情報が記載されています。本書にはキーボード、およびオーディオの使い方など、基本的な情報が含まれています。**汎用ユーザーガイド**に記載される説明の中には、特定モデルにのみ適用されるものがあり、お客様が購入されたモデルには該当しない場合があります。このような場合には、「特定モデルのみ」という注意書きが記載されています。

クイックガイドは、本 PC を生産的に使用するための方法を説明します。

TravelMate シリーズ汎用ユーザーガイドは、この PC についてわかりやすく説明してありますので、良くお読み頂き、指示に従ってください。このガイドには、システムユーティリティ、データ復元、拡張オプション、トラブルシューティングなどの詳細情報を記載しております。その他、保証情報および一般的な規制、安全のためのご注意なども記載されています。これは PDF (Portable Document Format) フォーマットでもお読みいただけるよう、ノートブックにあらかじめプリロードされています。このガイドをご覧になるには、以下の手順に従ってください。

1 **スタート** > **すべてのプログラム** > **AcerSystem** をクリックします。

2 **TravelMate Generic User Guide** をクリックします。

注意：ファイルを表示するには、Adobe Reader が必要となります。Adobe Reader がインストールされていない場合は、**TravelMate Generic User Guide** をクリックすると Adobe Reader セットアッププログラムが実行されます。画面の指示にしたがってインストールを完了してください。Adobe Reader の使い方については、**ヘルプとサポート**メニューにアクセスしてください。

本ノートブック PC の取り扱いと使用に関するヒント

本ノートブック PC の電源を ON または OFF にする

コンピュータの電源を入れるには、電源ボタンを押した後で放してください。電源ボタンの位置は、セットアップ ポスターで確認してください。

- Windows のシャットダウン機能：**スタート**をクリックした後、**シャットダウン** をクリックします。
- 電源ボタン

  スリープホットキー **<Fn> + <F4>** を押してもコンピュータをスリープモードにすることができます。

注意：通常の方法で本ノートブック PC の電源を OFF にできない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押してください。本ノートブック PC の電源を入れ直す場合は、最低 2 秒間待ってください。

本ノートブック PC の取り扱い

本ノートブック PC は、次の点に注意して取り扱ってください。

- 直射日光に当てないでください。また、暖房機などの熱を発する機器から放してお使いください。
- 0°C (32°F) 以下または 50°C (122°F) 以上の極端な温度は避けてください。
- 磁気に近づけないでください。
- 雨や湿気にさらさないでください。
- 液体をかけないでください。
- 強いショックを与えたり、激しく揺らしたりしないでください。
- ほこりや塵を避けてください。
- 本ノートブック PC の上には、絶対にものを置かないでください。
- ディスプレイを乱暴に閉めないでください。
- 本ノートブック PC は、安定した場所に設置してください。

AC アダプタの取り扱い

AC アダプタは、次のように取り扱ってください。

- その他のデバイスに接続しないでください。
- 電源コードの上に乗ったり、ものを置いたりしないでください。人の往来が多いところには、電源コードおよびケーブルを配置しないでください。
- 電源コードをはずすときは、コードではなくプラグを持ってはずしてください。
- 延長コードを使うときは、延長コードに接続された電気製品の定格電流の合計が延長コードに表示された許容の定格電流以下になるように注意してください。また、コンセントに差し込んだすべての製品の定格電流の合計が超えないように注意してください。

バッテリーパックの取り扱い

バッテリーパックは、次のように取り扱ってください。

- バッテリーパックは、同じタイプのものに交換してください。バッテリーをはずしたり交換したりするときは、本ノートブック PC の電源を OFF にしてください。
- 燃やしたり解体したりしないでください。子供の手に届かないところに保管してください。
- バッテリーは、現地の規則に従って正しく処理またはリサイクルしてください。

清掃とサービス

本ノートブック PC の清掃は、以下の手順に従ってください。

1. 本ノートブック PC の電源を OFF にして、バッテリーパックをはずしてください。
2. AC アダプタをはずしてください。
3. 柔らかい布で本体を拭いてください。液体またはエアゾールクリーナは、使用しないでください。

次の状況が発生した場合：

- 本ノートブック PC を落としたとき、またはケースが損傷したとき。
- 本ノートブック PC が正常に動かないとき。

44 ページの "FAQ" を参照してください。

目次

タッチパッド

本コンピュータに装備されているタッチパッドは、その表面での動きを感知するポインティングデバイスです。カーソルは、タッチパッドの表面に置かれた指の動きに対応します。タッチパッドはパームレストの中央に装備されているので、ゆったりとした環境で操作することができます。

タッチパッドの基本 (2 ボタン付きモデル)

次のアイテムは、2 ボタン付きタッチパッドの使い方を示したものです。

- 指をタッチパッド の上で動かして、カーソルを移動させてください。
- タッチパッドの縁にある左 および右 ボタンを押して、選択および機能の実行を行ってください。これら 2 つのボタンは、マウスの右および左ボタンと同じように機能します。タッチパッドをタップする (軽くたたく) 方法も同じように機能します。

機能	左ボタン	右ボタン	メインのタッチパッド
実行	2 度クリック		マウスボタンをダブルクリックするのと同じ速さで 2 度タップする。
選択	1 度クリック		1 度タップする。
ドラッグ	クリックしたままカーソルをドラッグ。		マウスボタンをダブルクリックするのと同じ速さで 2 度タップし、指をタッチパッドに置いたままカーソルをドラッグする。
コンテキストメニューにアクセス		1 度クリック	

注意：ここに示す図はすべて参照用です。ノートブック PC の正確な構成は、お客様が購入されたモデルにより異なります。

注意：タッチパッドは常に乾いた清潔な指で使用してください。パッドは非常に敏感なので、軽く触れる方がより良く反応します。強くたたいても、パッドの反応を改善することはできません。

注意：デフォルトにより、タッチパッドで縦および横方向のスクロールが可能です。これを無効にするには、Windows コントロールパネルの [マウス] の設定で行います。

キーボード

キーボードはフルサイズのキーとテンキーパッド *、独立したカーソル、ロック、Windows キー、機能キー、特殊キーで構成されています。

ロックキーとテンキーパッド *

本ノートブック PC には、ON または OFF に切り替えることができるロックキーが 3 つあります。

ロックキー	説明
Caps Lock	Caps Lock が ON のときは、すべてのアルファベット文字は大文字で入力されます。
Num Lock **<Fn> + <F11>***	Num Lock がオンになっているときには、独立したキーパッドが数値モードになります。キーは、計算機のように機能します (+、-、*、と / を含みます)。数値データの入力を大量に行うとき、このモードを利用してください。外付けテンキーパッドを接続することもできます。
Scroll Lock **<Fn> + <F12>**	Scroll Lock が ON のとき上または下カーソルキーを押すと、画面はそれぞれ 1 行上または 1 行下に移動します。Scroll Lock は、特定のアプリケーションでは機能しません。

テンキーパッドは、デスクトップのテンキーパッドと同様に機能します。キーキャップの右上隅に小さい文字で示されています。キーボードが見やすいように、カーソル制御キー記号は表示されていません。

アクセス	Num Lock on	Num Lock off
内蔵テンキーパッドの数値キー	通常どおり、数値をタイプしてください。	
内蔵テンキーパッドのカーソル制御キー	**<Shift>** キーを押しながら、カーソルキーを使用してください。	**<Fn>** キーを押しながら、カーソルキーを使用してください。
メインキーボードのキー	**<Fn>** キーを押しながら、内蔵テンキーパッドの文字を入力してください。	通常どおり、文字をタイプしてください。

* 特定モデルのみ

ホットキー

このコンピュータでは、ホットキーや 2 つ以上のキーを組み合わせて使用することにより、画面の輝度や出力音量など、コンピュータのほとんどのコントロールを調整することができます。

ホットキーを利用するときは、**<Fn>** キーを押しながら、ホットキーの組み合わせとなる、もう 1 つのキーを押してください。

ホットキー	アイコン	機能	説明
<Fn> + <F3>		通信キー	コンピュータの通信機器を有効 / 無効にします (通信機器は、構成内容によって異なります)。
<Fn> + <F4>		スリープ	PC をスリープモードに切り替えます。
<Fn> + <F5>		ディスプレイ切り替え	ディスプレイ出力を、ディスプレイスクリーン、外付けモニター (接続されている場合)、またはその両方に切り替えます。
<Fn> + <F6>		ディスプレイオフ	ディスプレイのバックライトをオフにして、電源を節約します。キーをどれか押すと、バックライトはオンになります。
<Fn> + <F7>		タッチパッド ON / OFF	内蔵タッチパッドをオン / オフにします。
<Fn> + <F8>		スピーカー ON / OFF	スピーカーをオン / オフにします。
<Fn> + <F11>		NumLk	キーボードの埋め込みテンキーパッドをオン / オフにします (特定モデルのみ)。
<Fn> + <▷>		輝度を上げる	画面輝度が上がります。
<Fn> + <◁>		輝度を下げる	画面輝度が下がります。
<Fn> + <△>		ボリュームアップ	スピーカーのボリュームを上げます。
<Fn> + <▽>		ボリュームダウン	スピーカーのボリュームを下げます。

日本語

Windows キー

キーボードは、Windows 機能用のキーを 2 つ装備しています。

キー		説明
	Windows キー	単独で押すと、[スタート] メニューを開きます。 他のキーと合わせて使用すると、別の機能を実行できます。 **< >** ：[スタート] メニューを開いたり、閉じたりします **< > + <D>** ：デスクトップを表示します **< > + <E>** ：Windows Explorer を開きます **< > + <F>** ：ファイルやフォルダを検索します **< > + <G>** ：サイドバーのアイテムを切り替えます **< > + <L>** ：コンピュータにロックを掛けたり (ネットワークドメインに接続している場合)、ユーザーを切り替えたりします (ネットワークドメインに接続していない場合) **< > + <M>** ：すべて最小化 **< > + <R>** ：ファイル名を指定して実行ダイアログボックスの表示 **< > + <T>** ：タスクバー上のプログラムを切り替えます **< > + <U>** ：Ease of Access Center を開きます **< > + <X>** ：Windows Mobility Center を開きます **< > + <Break>** ：システムのプロパティを表示します **< > + <Shift+M>** ：最小化した画面を復元します **< > + <Tab>** ：Windows Flip 3-D を使ってタスクバー上のプログラムを切り替えます **< > + < スペース バー >** ：すべてのアイテムを手前に表示し、Windows サイドバーを選択します **<CTRL> + < > + <F>** ：ネットワーク コンピュータを検索します **<CTRL> + < > + <Tab>** ：矢印キーにより、Windows Flip 3-D を使ってオープン プログラムを順番に切り替えます
	アプリケーションキー	このキーは、マウスの右ボタンをクリックするのと同じ機能があり、アプリケーションのコンテキストメニューを開きます。

注意：Windows のエディションによっては、ショートカットの中には表示の通りに機能しないものがあります。

Acer ProShield (特定モデルのみ)

概要

オールインワン セキュリティ ソリューション、Acer ProShield は次のような脆弱なポイントに対するセキュリティソリューションを提供します。

- 不正アクセスからのデバイスの保護
- ローカルストレージの保護
- ネットワークの保護

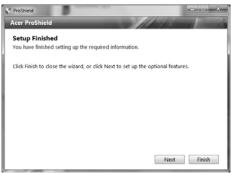
Acer ProShield にはデバイスを不正なアクセスや侵入から防ぐための 5 つのモジュールが含まれています。

- クレデンシャル マネージャ - パスワード、Bio-Protection、TPM 構成
- BIOS マイグレーション - ブートシーケンスとデバイスのセキュリティ
- データ暗号化 - パーソナル セキュアドライブ、ファイル、フォルダの暗号化
- データ削除 - ファイルシュレッダー
- リモート マネージビリティ - ProShield リモート UI

ProShield の設定

初めて ProShield を起動すると、ProShield のパラメータを設定するためのセットアップ ウィザードが開きます。**[スタート]** をクリックして作業を開始します。パスワードを設定するよう要求されます。

注意：覚えやすく、他人が考えつかないようなパスワードを使用してください。辞書に載っている単語は使用しないでください。文字と数字を組み合わせて使用するようお薦めします。

パスワードの設定が完了したら、**次へ**をクリックして個人セキュア ディスクの設定を行うか、**完了**をクリックしてウィザードを終了します。

個人セキュア ディスク

個人セキュア ディスク (PSD) とは、ファイルを保存できるハードディスク上のセキュア セクションのことです。PSD にはパスワード入力か指紋認証を行わなければアクセスできません。

設定を完了したら、ProShield コンソールでコンピュータを管理したり、設定を変更したりすることができます。

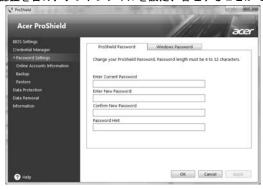
変更を行うには、左パネルのメニューを使用します。

BIOS 設定

ここでは BIOS スーパーバイザー パスワードおよびユーザー パスワードを設定したり、ブートアップ時のパスワード確認を有効または無効にしたり、デバイスに資産タグを付けたりすることができます。

またブートデバイスの順序を設定したり、ポートや内蔵デバイスを有効または無効にしたり、BIOS 設定をインポートまたはエクスポートすることも可能です。

クレデンシャル マネージャ

プリブートの認証を含め、クレデンシャルを設定、管理することができます。

ProShield パスワードおよび Windows パスワードを変更したり、オンライン アカウント情報を管理したり、クレデンシャル情報をバックアップまたは復元することができます。

データ保護

ここでは暗号化または解読するファイルを選択したり、PSD を管理したりします。

データ除去

ここではハードディスクから完全に削除するファイルを選択できます。ファイルシュレッダーはデータに上書きして、データを復元不可能にします。

注意：デスクトップ上のファイルシュレッダー アイコンをダブルクリックすると、この機能が起動します。

警告：**破棄したい情報だけを選択してください。ファイルやフォルダをシュレッダーにかけると、データを復元することはできなくなります。**

リモートマネージビリティ

このモジュールは、リモートステーションから Acer Client Manager に Acer ProShield の機能をコントロールさせます。リモート管理の利点により、IT リソースを効率的に使用し、セキュリティアップデートをタイムリーに導入することが可能になります。

Acer eRecovery Management

他の方法によってコンピュータを修復できない場合は、Windows オペレーティングシステムとプレロードされたソフトウェアとドライバを再インストールする必要があるかもしれません。必要な場合に確実にコンピュータを復元できるようにするには、できるだけ早くリカバリー バックアップを作成する必要があります。

注意：以下の内容はすべて参照用としてご使用ください。実際の仕様は製品によって異なります。

Acer eRecovery Management には次の機能が備わっています。

1　バックアップ：

- 初期イメージ バックアップの作成
- ドライバとアプリケーションのバックアップ

注意：ODD を持たないモデルの場合は、USB ドライブにバックアップ コピーを作成できます。

2　復元：

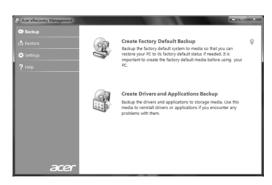
- オペレーティング システムを工場出荷時の状態に戻す
- オペレーティングシステムを復元し、ユーザーデータを保持
- ドライバまたはアプリケーションを再インストール

この章では、それぞれの手順を説明します。

Acer eRecovery Management のパスワード保護機能を使うには、まずパスワードを設定する必要があります。パスワードは Acer eRecovery Management を起動し、［**設定**］をクリックすると設定できます。

リカバリー バックアップの作成 (光学ドライブ)

光学ディスクのバックアップを使用して再インストールするには、先にリカバリーディスクを作成しておく必要があります。画面に表示される指示に従ってください。指示内容はよくお読みください。

1 **スタート** > **すべてのプログラム** > **Acer** をクリックした後、**Acer eRecovery Management** をクリックします。

2 ハードディスク全体のオリジナルコンテンツ (Windows とプレロードされたソフトウェアとドライバすべて) のリカバリーディスクを作成するには、**工場出荷時のデフォルトディスクを作成**をクリックします。

または

プレロードされたソフトウェアとドライバのリカバリーディスクを作成するには、**ドライバとアプリケーションのバックアップディスクの作成**をクリックします。

重要！できるだけ早く各タイプのリカバリー バックアップを作成しておかれるようお薦めします。

[初期イメージ バックアップの作成] ダイアログボックスにはリカバリーディスクを作成するのに必要な、空白の書き込み可能なディスクの枚数が表示されます。作業を開始する前に、同じタイプの空白のディスクが必要な枚数分あることを確認してください。

3　空白のディスクを**バックアップ先**リストに表示されるドライブに挿入し、**次へ**をクリックします。画面にバックアップの進行状況が表示されます。

書き込みが完了する度に、ドライブからディスクが取り出されます。

4　ドライブからディスクを取り出し、油性のマーカーでディスクの名前を記入してください。

重要！各ディスクには、「Windows リカバリーディスク 1/2」や「アプリ / ドライバ リカバリーディスク」などのように、分かりやすいラベルを付けてください。ディスクは安全な場所に保管しておき、また保管した場所も覚えておいてください。

5　複数のディスクが必要な場合は、指示があったら新しいディスクを挿入して **OK** をクリックしてください。すべての作業が完了するまでディスクの書き込みを続けてください。

リカバリー バックアップの作成 (USB フラッシュ ドライブ)

USB フラッシュ ドライブのバックアップを使用して再インストールするには、先にリカバリー バックアップを作成しておく必要があります。画面に表示される指示に従ってください。指示内容はよくお読みください。

重要！ USB フラッシュ ドライブを使用する場合は、12GB 以上の空き領域があり、データが書き込まれていないことを確認してください。

重要！このセクションは、光学ドライブが付いていないコンピュータについての説明です。

1　**スタート** > **すべてのプログラム** > **Acer** をクリックした後、**Acer eRecovery Management** をクリックします。

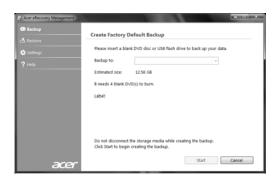
2　ハードディスク全体のオリジナルコンテンツ (Windows とプレロードされたソフトウェアとドライバすべて) のリカバリーバックアップを作成するには、**工場出荷時のデフォルトバックアップを作成**をクリックします。

または

プレロードされたソフトウェアとドライバのリカバリーバックアップを作成するには、**ドライバとアプリケーションのバックアップの作成**をクリックします。

日本語

重要！できるだけ早く各タイプのリカバリー バックアップを作成しておかれるようお薦めします。

[初期イメージ バックアップの作成] ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスには、USB フラッシュ ドライブ上のバックアップ ファイルの予想サイズが表示されます。

3　USB ドライブを接続し、**[次へ]** をクリックします。画面にバックアップの進行状況が表示されます。

4　USB フラッシュ ドライブを外し、油性ペンで内容がわかるような名前を書いてください。

重要！各バックアップには、「Windows リカバリーバックアップ」や「アプリ / ドライバ リカバリーバックアップ」などのように、分かりやすいラベルを付けてください。USB フラッシュ ドライブは安全な場所に保管しておき、また保管した場所も覚えておいてください。

システムの復元 (光学ドライブ)

Acer サポートが問題を解決できない場合は、Acer eRecovery Management プログラムを使用できます。このプログラムはコンピュータを購入時の状態に戻します。すべての設定と個人データを後から回復できるようなオプションもあります。

システムを修復するには

1　ミラー修正を行ってください。

ソフトウェアまたはハードウェアの 1 つか 2 つのアイテムだけが正常に作動しなくなった場合は、ソフトウェアまたはデバイスドライバを再インストールすることによって問題を解決できる場合があります。プレインストールされていたソフトウェアやドライバを工場出荷時の状態に戻すには、**15 ページの " プレインストールされたソフトウェアとドライバの 修復 "** を参照してください。プレインストールされていないソフトウェアやドライバを再インストールする手順については、製品の説明書またはテクニカルサポートサイトを参照してください。

2　システムを前の状態に戻します。

ソフトウェアやドライバを再インストールしても問題を解決できない場合は、システムが正常に作動していたときの状態にコンピュータを戻すことによって問題を解決できるかもしれません。手順については、**16 ページの " システムを前の状態に戻す "** を参照してください。

3　システムを工場出荷時の状態に戻します。

どうしても問題を解決できず、システムを工場出荷時の状態に戻したい場合は、**17 ページの " システムを工場出荷時の状態に戻す "** を参照してください。

復元タイプ

プレインストールされたソフトウェアとドライバの修復

トラブルシューティングの手順として、コンピュータに工場からプレインストールされていたソフトウェアおよびデバイスドライバを再インストールする必要があるかもしれません。ハードディスクまたは作成したリカバリーディスクのいずれかを使って、復元することができます。

- 新しいソフトウェア：コンピュータにプレインストールされていなかったソフトウェアを修復する必要がある場合は、ソフトウェアのインストールの手順に従ってください。
- 新しいデバイス ドライバ：コンピュータにプレインストールされていなかったデバイスドライバを修復する必要がある場合は、デバイスに同梱される説明書の手順に従ってください。

プレインストールされたソフトウェアとドライバを修復するには

1 **スタート** > **すべてのプログラム** > **Acer** をクリックした後、**Acer eRecovery Management** をクリックします。

または

ドライバとアプリケーションのリカバリーディスクから修復する場合は、ディスクドライブにディスクを挿入し、Acer Application Recovery のメインメニューが開いた後でステップ 3 に進んでください。

2 **復元**タブをクリックし、**ドライバまたはアプリケーションの再インストール**をクリックして Acer Application Recovery メインメニューを開きます。

3 **コンテンツ**をクリックして、ソフトウェアとデバイス ドライバのリストを表示します。

4 インストールしたいアイテムのインストールアイコン をクリックし、画面の指示に従ってインストールを完了してください。必要なアイテムをすべてインストールできるまで、この手順を繰り返してください。

システムを前の状態に戻す

Microsoft システムの復元は、定期的にシステムの設定の「スナップショット」を撮影し、それらを復元ポイントとして保存します。修復が難しいソフトウェアの大抵の問題は、これらの復元ポイントの 1 つを使ってシステムを元に戻すことができます。

Windows は毎日追加の復元ポイントを自動作成します。またソフトウェアやデバイスドライバをインストールしたときにも、これを作成します。

チップ：Microsoft システムの復元の使い方については、[スタート] をクリックした後、[ヘルプとサポート] をクリックします。[ヘルプの検索] 欄に *「Windows システムの復元」* と入力し、Enter キーを押してください。

復元ポイントに戻るには：

1 **スタート** > **コントロールパネル** > **システムとセキュリティ** > **Action Center** をクリックした後、**回復**をクリックします。

2 **システムの復元を開く**をクリックした後、**次へ**をクリックします。

3 戻したい時点の復元ポイントをクリックし、**次へ**を選択した後、**完了**を選択します。すると、確認のためのメッセージボックスが表示されます。

4 **はい**をクリックします。システムは指定した復元ポイントまで復元されました。この処理が完了するまでには数分かかります。またコンピュータを再起動する必要があるかもしれません。

システムを工場出荷時の状態に戻す

他の方法によってコンピュータを修復できない場合は、すべてを再インストールしてシステムを工場出荷時の状態に戻す必要があるかもしれません。ハードディスクまたは作成したリカバリーディスクのいずれかを使って再インストールすることができます。

警告：この完全な修復を実行するとハードディスク上のすべてが削除され、システムにプレインストールされていた Windows とすべてのソフトウェアおよびドライバが再インストールされます。ハードディスク上に重要なファイルがある場合は、今すぐそれらをバックアップしてください。

まだ Windows を起動できる場合は、下の **17 ページの "Windows から修復する "** を参照してください。

Windows XP は起動できないが元のハードディスクはまだ作動している場合は、**18 ページの " スタートアップ中にハードディスクから修復する "** を参照してください。

Windows XP を起動できず、元のハードディスクも完全にフォーマットされているか、別のハードディスクが装着されている場合は、**18 ページの " リカバリーディスクから修復する "** を参照してください。

Windows から修復する

Windows とプレインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールするには：

スタート > **すべてのプログラム** > **Acer** をクリックした後、**Acer eRecovery Management** をクリックします。

修復タブをクリックした後、**オペレーティング システムを工場出荷時の状態に戻す**をクリックします。

はいをクリックし、次に**開始**をクリックします。するとダイアログボックスにオペレーティングシステムの修復先となるハードディスクについての情報が表示されます。

警告 : 処理を続行すると、ハードディスクのすべてのファイルが削除されます。

OK をクリックします。コンピュータを再起動すると復元処理が開始され、続いてファイルがハードディスクにコピーされます。この処理には多少時間がかかります。Acer eRecovery Management 画面に進行状況が表示されます。

復元が完了すると、コンピュータを再起動するよう要求されます。

OK をクリックし、コンピュータを再起動します。

初回のシステムセットアップを行うために、画面の指示に従ってください。

スタートアップ中にハードディスクから修復する

Windows とプレインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールするには :

1 コンピュータの電源を入れて、スタートアップ中に <**Alt**> + <**F10**> を押して Acer eRecovery Management を起動します。

2 **オペレーティング システムを工場出荷時の状態に戻す**をクリックします。

警告 : 処理を続行すると、ハードディスクのすべてのファイルが削除されます。

3 **次へ**をクリックします。すると工場からプレロードされたハードディスクのコンテンツが修復されます。この処理には数分かかります。

リカバリーディスクから修復する

Windows とプレインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールするには :

1 コンピュータの電源を入れて最初のシステムリカバリーディスクを光学ディスクドライブに挿入し、コンピュータを再起動します。

警告 : 処理を続行すると、ハードディスクのすべてのファイルが削除されます。

まだ有効になっていない場合は、F12 ブート メニューを有効にする必要があります。

コンピューターを起動したときに、<**F2**> キーを押します。

左右矢印キーを使ってメインメニューを選択します。

F12 ブート メニューが選択されるまで下向きキーを押し、<**F5**> キーを押してこの設定を Enabled (有効) に変更します。

左右矢印キーを使って Exit メニューを選択します。

Save Changes and Exit (変更を保存して終了) を選択して、Enter キーを押します。**OK** を押して確認してください。

するとコンピュータが再起動します。

2 スタートアップ中に <**F12**> キーを押すとブートメニューが開きます。ブートメニューでは、スタートするデバイス (ハードディスクか光学ディスク) を選択できます。

3 矢印キーを使って **CDROM/DVD** (このラインの先頭に 棚 DE 1...í が付いている場合があります) を選択し、<**Enter**> を押します。Windows は挿入したリカバリーディスクからインストールします。

4 2 番目のリカバリーディスクを挿入するよう表示されたらその指示に従い、画面の指示に従って復元を完了してください。

システムの復元 (USB フラッシュ ドライブ)

Acer サポートが問題を解決できない場合は、Acer eRecovery Management プログラムを使用できます。このプログラムはコンピュータを購入時の状態に戻します。すべての設定と個人データを後から回復できるようなオプションもあります。

システムを修復するには

1　ミラー修正を行ってください。

ソフトウェアまたはハードウェアの 1 つか 2 つのアイテムだけが正常に作動しなくなった場合は、ソフトウェアまたはデバイスドライバを再インストールすることによって問題を解決できる場合があります。プレインストールされていたソフトウェアやドライバを工場出荷時の状態に戻すには、**20 ページの " プレインストールされたソフトウェアとドライバの 修復 "** を参照してください。プレインストールされていないソフトウェアやドライバを再インストールする手順については、製品の説明書またはテクニカルサポートサイトを参照してください。

2　システムを前の状態に戻します。

ソフトウェアやドライバを再インストールしても問題を解決できない場合は、システムが正常に作動していたときの状態にコンピュータを戻すことによって問題を解決できるかもしれません。手順については、**21 ページの " システムを前の状態に戻す "** を参照してください。

3　システムを工場出荷時の状態に戻します。

どうしても問題を解決できず、システムを工場出荷時の状態に戻したい場合は、**22 ページの " システムを工場出荷時の状態に戻す "** を参照してください。

復元タイプ

プレインストールされたソフトウェアとドライバの修復

トラブルシューティングの手順として、コンピュータに工場からプレインストールされていたソフトウェアおよびデバイスドライバを再インストールする必要があるかもしれません。ハードディスクまたは作成したバックアップのいずれかを使って修復することができます。

- 新しいソフトウェア：コンピュータにプレインストールされていなかったソフトウェアを修復する必要がある場合は、ソフトウェアのインストールの手順に従ってください。

- 新しいデバイス ドライバ : コンピュータにプレインストールされていなかったデバイスドライバを修復する必要がある場合は、デバイスに同梱される説明書の手順に従ってください。

プレインストールされたソフトウェアとドライバを修復するには

1 **スタート** > **すべてのプログラム** > **Acer** をクリックした後、**Acer eRecovery Management** をクリックします。

または

ドライバとアプリケーションのリカバリー バックアップから復元する場合は、USB フラッシュ ドライブを USB ポートに挿入します。Windows エクスプローラで USB フラッシュ ドライブを開き、**復元**をダブルクリックします。

2 USB デバイスから [ドライバまたはアプリケーションを再インストール] をクリックします。

3 **コンテンツ**をクリックして、ソフトウェアとデバイス ドライバのリストを表示します。

4 インストールしたいアイテムのインストールアイコン をクリックし、画面の指示に従ってインストールを完了してください。必要なアイテムをすべてインストールできるまで、この手順を繰り返してください。

システムを前の状態に戻す

Microsoft システムの復元は、定期的にシステムの設定の「スナップショット」を撮影し、それらを復元ポイントとして保存します。修復が難しいソフトウェアの大抵の問題は、これらの復元ポイントの 1 つを使ってシステムを元に戻すことができます。

Windows は毎日追加の復元ポイントを自動作成します。またソフトウェアやデバイスドライバをインストールしたときにも、これを作成します。

日本語

チップ：Microsoft システムの復元の使い方については、[スタート] をクリックした後、[ヘルプとサポート] をクリックします。[ヘルプの検索] 欄に *「Windows システムの復元」* と入力し、Enter キーを押してください。

復元ポイントに戻るには：

1 **スタート** > **コントロールパネル** > **システムとセキュリティ** > **Action Center** をクリックした後、**回復**をクリックします。

2 **システムの復元を開く**をクリックした後、**次へ**をクリックします。

3 戻したい時点の復元ポイントをクリックし、**次へ**を選択した後、**完了**を選択します。すると、確認のためのメッセージボックスが表示されます。

4 **はい**をクリックします。システムは指定した復元ポイントまで復元されました。この処理が完了するまでには数分かかります。またコンピュータを再起動する必要があるかもしれません。

システムを工場出荷時の状態に戻す

他の方法によってコンピュータを修復できない場合は、すべてを再インストールしてシステムを工場出荷時の状態に戻す必要があるかもしれません。ハードディスクまたは作成したリカバリー バックアップのいずれかを使って再インストールすることができます。

警告：この完全な修復を実行するとハードディスク上のすべてが削除され、システムにプレインストールされていた Windows とすべてのソフトウェアおよびドライバが再インストールされます。ハードディスク上に重要なファイルがある場合は、今すぐそれらをバックアップしてください。

まだ Windows を起動できる場合は、下の **23 ページの "Windows から修復する "** を参照してください。

Windows XP は起動できないが元のハードディスクはまだ作動している場合は、**23 ページの " スタートアップ中にハードディスクから修復する "** を参照してください。

Windows XP を起動できず、元のハードディスクも完全にフォーマットされているか、別のハードディスクが装着されている場合は、**23 ページの " リカバリー バックアップから修復する "** を参照してください。

Windows から修復する

Windows とプレインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールするには：

スタート > **すべてのプログラム** > **Acer** をクリックした後、**Acer eRecovery Management** をクリックします。

修復タブをクリックした後、**オペレーティング システムを工場出荷時の状態に完全に復元**を選択すると、**修復の確認**ダイアログボックスが開きます。

はいをクリックし、次に**開始**をクリックします。するとダイアログボックスにオペレーティングシステムの修復先となるハードディスクについての情報が表示されます。

警告処理を続行すると、ハードディスクのすべてのファイルが削除されます。

OK をクリックします。コンピュータを再起動すると復元処理が開始され、続いてファイルがハードディスクにコピーされます。この処理には多少時間がかかります。Acer eRecovery Management 画面に進行状況が表示されます。

復元が完了すると、コンピュータを再起動するよう要求されます。

OK をクリックし、コンピュータを再起動します。

初回のシステムセットアップを行うために、画面の指示に従ってください。

スタートアップ中にハードディスクから修復する

Windows とプレインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールするには：

1 コンピュータの電源を入れて、スタートアップ中に <**Alt**> + <**F10**> を押して Acer eRecovery Management を起動します。

2 **オペレーティング システムを工場出荷時の状態に戻す**をクリックします。

警告処理を続行すると、ハードディスクのすべてのファイルが削除されます。

3 **次へ**をクリックします。すると工場からプレロードされたハードディスクのコンテンツが修復されます。この処理には数分かかります。

リカバリー バックアップから修復する

Windows とプレインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールするには：

1 USB フラッシュ ドライブを接続し、コンピュータの電源を入れます。

警告 : 処理を続行すると、ハードディスクのすべてのファイルが削除されます。

まだ有効になっていない場合は、F12 ブート メニューを有効にする必要があります。

コンピューターを起動したときに、<**F2**> キーを押します。

左右矢印キーを使ってメインメニューを選択します。

F12 ブート メニューが選択されるまで下向きキーを押し、<**F5**> キーを押してこの設定を Enabled (有効) に変更します。

左右矢印キーを使って Exit メニューを選択します。

Save Changes and Exit (変更を保存して終了) を選択して、**Enter** キーを押します。[**OK**] を押して確認してください。

するとコンピュータが再起動します。

2 スタートアップ中に <**F12**> キーを押すとブートメニューが開きます。ブートメニューでは、どのデバイスから起動するかを選択できます (フラッシュ ドライブなど)。

3 矢印キーを使って **USB HDD** を選択し、<**Enter**> を押します。Windows が USB フラッシュ ドライブのリカバリー バックアップからインストールします。

4 画面の指示に従って作業を完了してください。

Acer Backup Manager

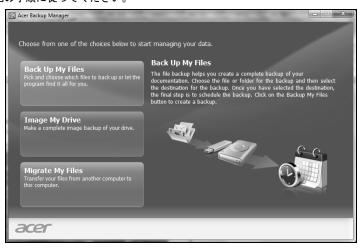
注意：この機能は一部のモデルでしかご使用いただくことができません。

Acer Backup Manager はわずか 3 ステップで、予定した日時、あるいは必要に応じて、システム全体、あるいは選択したファイルとフォルダのバックアップコピーを作成することができます。

Acer Backup Manager を起動するには、キーボードの上にある Acer Backup Manager キーを押してください。または、**[スタート] > [すべてのプログラム] > [Acer Backup Manager] > [Acer Backup Manager]** を選択します。すると「ようこそ」画面が開きます。この画面から、3 つのステップでバックアップの予約を設定することができます。［**続行**］をクリックして、次の画面に進みます。+ ボタンをクリックして、画面の指示に従ってください。

1 バックアップしたい内容を選択します。選択する内容が少なければ少ないほど、処理は早くなりますが、データを失うリスクが高くなります。
2 バックアップコピーを保管する場所を選択します。外付けドライブか、D ドライブを選択する必要があります。Acer Backup Manager はソースドライブにバックアップを保管することができません。
3 Acer Backup Manager がバックアップを作成する頻度を選択します。

これらのステップが完了した後は、予約に基づいてバックアップが行われます。Acer Backup Manager キーを押すと、手動でバックアップを行うことができます。

設定を変更するには、**[スタート]** メニューから Acer Backup Manager を起動し、上記の手順に従ってください。

パワーマネージメント

本ノートブック PC は、システムアクティビティを管理する、内蔵パワーマネージメントユニットを装備しています。システムアクティビティとは、次の装置のうちの 1 台またはそれ以上が関係するあらゆるアクティビティのことを言います。キーボード、マウス、ハードディスク、コンピュータに接続された周辺機器、ビデオメモリ。特定の時間アクティビティが行われなければ、本ノートブック PC は電源節約のため、これらのデバイスの使用を停止します。

本ノートブック PC は、性能に影響を与えることなく活用できる ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) をサポートするパワーマネージメントスキームを使用しています。Windows がすべてのパワーセービング操作を行います。

Acer PowerSmart キー

注意：この機能は一部のモデルでしかご使用いただくことができません。

作成したいバックアップの種類を選択し、バックアップしたいファイルかドライブを選択した後、画面の指示に従います。キーを押すと、スクリーンの輝度が低くなり、グラフィックチップが低速に切り替わります。また PCI と WLAN は省電力モードに切り替わります。再び Acer PowerSmart キーを押すと、元の設定に戻ります。

バッテリー

本コンピュータは長時間利用できるバッテリーを使用しています。

バッテリーの特徴

バッテリーには次のような特徴があります。

- 現在のバッテリー技術規格を採用
- 低残量を警告

バッテリーはコンピュータに AC アダプタを接続すると充電されます。このコンピュータは、使用中でも充電することができます。ただしコンピュータの電源を切った状態で充電した方が、はるかに早く充電できます。

バッテリーを使用すると旅行中、または停電中でもコンピュータを操作することができます。バックアップのために、完全に充電したバッテリーを予備に用意されるようお薦めします。予備のバッテリー購入については、販売店にお問い合わせください。

バッテリー寿命を延長するには

他のバッテリーと同様、このコンピュータのバッテリーは使用を重ねる毎に品質が低下していきます。つまりバッテリーを充電できる量が徐々に少なくなっていきます。バッテリーの寿命を延長するには、下記の点に注意してください。

新しいバッテリーのコンディション調整

最初にバッテリーをお使いになる前に、バッテリーのコンディション調整を行う必要があります。

1. コンピュータの電源を切った状態で新しいバッテリーを装着します。
2. AC アダプタを接続し、バッテリーを完全に充電します。
3. AC アダプタを外します。
4. コンピュータの電源を入れて、バッテリー電源でコンピュータ操作を行います。
5. 低残量警告が表示されるまで、バッテリーを消耗させます。
6. AC アダプタを接続し、再びバッテリーを完全に充電します。

この手順にしたがって、バッテリーの充電と放電を 3 回繰り返します。

新しいバッテリーを購入された場合、あるいは長時間バッテリーを使用していない場合は、このコンディション調整を行ってください。コンピュータを 2 週間以上使用しない場合は、バッテリーを取り外しておいてください。

警告：バッテリーを長時間 0°C (32°F) 以下、または 45°C (113°F) 以上の環境に放置しないでください。極度な環境では、バッテリーに著しい影響を与える恐れがあります。

バッテリーのコンディション調整を行い、バッテリーをできるだけ長期間使用できるように整えてください。この調整を行わなければ、バッテリーの充電可能回数が少なくなり、寿命も短くなります。

また次のような使用パターンは、バッテリーの寿命に影響します：

- バッテリーを装着したままで常にAC電源を使用する。常にAC電源を使用したい場合は、バッテリーを完全に充電した後外しておくようお薦めします。
- 上記で説明した方法で完全に充電と放電を行わない。
- 頻繁に使用する。バッテリーは使えば使うほど、寿命が短くなります。標準のコンピュータバッテリーは、約 300 回充電することができます。

バッテリーの装着と取り外し

重要！コンピュータを続けて使用したい場合は、バッテリーを取り外す前に必ず AC アダプタを接続してください。そうでない場合は、まずコンピュータの電源を切ってください。

バッテリーの装着：

1 バッテリーを開いたバッテリーベイに合わせます。バッテリーのコンタクト部分を先に、バッテリーの上面が上を向くように挿入してください。
2 バッテリーをバッテリーベイにスライドさせ、バッテリーがしっかりとロックされるようにやさしく押してください。

バッテリーの取り外し：

1 バッテリー取り外しラッチをスライドさせてバッテリーを外します。
2 バッテリーをバッテリーベイから取り出してください。

バッテリーの充電

バッテリーを充電するには、まずバッテリーが正しくバッテリーベイに装着されていることを確認してください。AC アダプタをコンピュータに接続し、コンセントに繋ぎます。バッテリーを充電している間も AC 電源を使ってコンピュータ操作を継続することができます。ただしコンピュータの電源を切った状態で充電した方が、はるかに早く完了することができます。

注意：1 日の終わりにバッテリーを充電されるようお薦めします。ご旅行前に一晩中バッテリーを充電しておくと、翌日バッテリーが完全に充電された状態で作業を開始することができます。

バッテリー残量の確認

Windows の電源メーターに現在のバッテリー残量が表示されます。タスクバー上のバッテリー / 電源アイコンにマウスカーソルを合わせると、バッテリーの残量が表示されます。

バッテリーの寿命を最適化する

バッテリーの寿命を最適化すると、充電 / 放電サイクルを延長させ、効率良く充電することができるようになります。次のアドバイスにしたがってください。

- 予備のバッテリーを購入する。
- できるだけ AC 電源を使用し、バッテリーは外出用に保存しておく。
- PC カードは電力を消費するため、これを使用しないときには外しておく（特定モデルのみ）。
- バッテリーは涼しい、乾燥した場所に保管する。推奨する温度は 10°C (50°F) から 30°C (86°F) です。気温が高くなると、バッテリーはより早く自己放電します。
- 何度も充電を繰り返すとバッテリーの寿命は短くなります。
- AC アダプタとバッテリーは定期的なお手入れが必要です。

低残量警告

バッテリーを使用するときには、Windows の電源メーターに注意してください。

警告：バッテリーの低残量警告が表示されたら、速やかに AC アダプタを接続してください。バッテリーが完全に消耗すると、コンピュータがシャットダウンしますのでデータが失われてしまいます。

バッテリーの低残量警告が表示された場合の対処法は、作業状況によって異なります。

状況	対処法
AC アダプタとコンセントが近くにある場合。	1. AC アダプタをコンピュータに接続し、コンセントに繋ぎます。 2. 必要なファイルすべてを保存します。 3. 作業を再開します。 **バッテリーをできるだけ速く充電したい場合は、コンピュータの電源を切ってください。**
予備のバッテリーがある場合。	1. 必要なファイルすべてを保存します。 2. すべてのアプリケーションを閉じます。 3. コンピュータの電源を切ります。 4. バッテリーを交換します。 5. コンピュータの電源を入れて、作業を再開します。
AC アダプタとコンセントが近くになく。予備のバッテリーもない場合。	1. 必要なファイルすべてを保存します。 2. すべてのアプリケーションを閉じます。 3. コンピュータの電源を切ります。

本ノートブック PC の携帯

ここでは、本ノートブック PC を持ち運ぶときの方法やヒントについて説明します。

周辺装置の取りはずし

以下の手順に従って、本ノートブック PC から周辺装置を外してください。

1 作業を終了し、保存してください。
2 フロッピーや CD などのメディアをドライブから取り出してください。
3 コンピュータをシャットダウンしてください。
4 ディスプレイを閉じてください。
5 AC アダプターからコードをはずしてください。
6 キーボード、ポインティング デバイス、プリンター、外付けモニターおよびその他の外付けデバイスをはずしてください。
7 ケンジントンロックを使用している場合は、それをはずしてください。

短距離の移動

オフィスデスクから会議室までなどの短距離を移動する場合についてご説明いたします。

携帯するための準備

本ノートブック PC を移動する前に、ディスプレイを閉めて、スリープモードに切り替えてください。これで、ビルの中を移動することができます。本ノートブック PC をスリープモードから標準モードに戻すには、ディスプレイを開けてください。次に、電源ボタンを押してください。

本ノートブック PC をクライアントのオフィスや別のビルに携帯する場合は、
本ノートブック PC をシャットダウンすることもできます。

[スタート] をクリックした後、**[シャットダウン]** をクリックします。

- または -

<Fn> + <F4> キーを押して、本ノートブック PC をスリープモードに切り替えることもできます。ディスプレイをしっかりと閉じてください。

本ノートブック PC を再度使い始めるときは、ディスプレイを開けてください。
次に、電源ボタンを押してください。

注意：スリープ LED が OFF の場合は、本ノートブック PC はハイバネーションモードに切り替わって OFF の状態になっています。電源 LED が OFF でスリープ LED が ON の場合は、本 PC はスリープモードに切り替わっています。どちらの場合も、本ノートブック PC を標準モードに戻すには、電源ボタンを押してください。本ノートブック PC は、スリープモードに切り替わってから一定の時間が過ぎると、ハイバネーションモードに切り替わることがありますので、ご注意ください。

会議に持っていくもの

短時間の会議であれば、コンピュータ以外のものを携帯する必要はないでしょう。ただし長時間にわたる会議や、電池が完全に充電されていない場合は、AC アダプタを携帯されることをお薦めします。

会議室にコンセントがない場合は、本ノートブック PC をスリープモードに切り替えて電源の消費を最小限にとどめてください。本ノートブック PC を使用していないときは、**<Fn> + <F4>** キーを押すか、またはディスプレイを閉めるようにしてください。標準モードに戻るには、ディスプレイを開けてください。次に、電源ボタンを押してください。

自宅に持ち帰る

オフィスと自宅の間を移動する場合についてご説明いたします。

携帯するための準備

本ノートブック PC をご自宅に持って帰る場合は、以下の準備を行ってください。

- ドライブからメディアや CD をすべて取り出してあることを確認してください。メディアを挿入したままにしておくと、ドライブのヘッドが破損する場合があります。
- 移動中に動かないように、または落としたときにクッションがあるように、本ノートブック PC を保護ケースまたは携帯用バックに入れてください。

注意：携帯ケースの中に本ノートブック PC 以外のものを多く詰めすぎると、トップカバーに圧力がかかり、スクリーンが破損する恐れがあります。

持っていくもの

すでにご自宅に予備用がある場合以外は、次のアイテムをお持ちください。

- AC アダプターおよび電源コード。
- 印刷されたセットアップ ポスター。

注意事項

これらのガイドラインに従って、移動中はコンピュータを保護してください。

- 温度変化による影響を最小限にとどめてください。
- 長時間どこかに立ち寄る場合などは、本ノートブック PC を車のトランクの中などに置いて熱を避けてください。
- 温度および湿度の変化は、結露の原因となることがあります。本ノートブック PC を通常温度に戻し、電源を ON にする前に結露がないかどうか画面をチェックしてください。10 °C (18 °F) 以上の温度変化があった場合は、時間をかけて本ノートブック PC を通常温度に戻してください。可能であれば、屋外と室内の間の温度に 30 分間置いてください。

ホームオフィスの設定

頻繁にご自宅で本ノートブック PC を使用する場合は、予備用の AC アダプタを購入することをおすすめします。これにより、AC アダプタを持ち運ぶ必要がなくなります。

ご自宅で本ノートブック PC を長時間使用する場合は、外付けキーボード、外付けモニターまたは外付けマウスの使用もおすすめします。

長距離の移動

オフィスからクライアントのオフィスまでや国内旅行など、長距離を移動する場合について説明します。

携帯するための準備

自宅に持ち帰るときと同じ要領で本ノートブック PC を準備してください。バッテリーが充電されていることを確認してください。空港のセキュリティがコンピューターの持ち込み時に電源を ON にすることを要求することがあります。

持っていくもの

以下のアイテムをお持ちください。

- AC アダプタ
- 予備用の完全に充電されたバッテリーパック
- 別のプリンターを使用する場合は、追加のプリンタードライバファイルが必要です。

注意事項

自宅に持ち帰るときの注意事項に加えて、以下の事柄に注意してください。

- 本ノートブック PC は手荷物としてください。
- 本ノートブック PC の検査は手で行ってください。本ノートブック PC は、X 線装置を安全に通過することができますが、金属探知器を使わないようにしてください。
- 手で持つタイプの金属探知器にフロッピーディスクをさらさないでください。

海外旅行

海外に旅行する場合について説明します。

携帯するための準備

国内旅行用の準備と同じ要領で準備してください。

持っていくもの

以下のアイテムをお持ちください。

- AC アダプタ
- 旅行先の国で使用できる電源コード
- 予備用の完全に充電されたバッテリーパック
- 別のプリンターを使用する場合は、追加のプリンタードライバファイルが必要です
- 購入の証明。空港の税関で、提示する必要がある場合があります
- 国際旅行者保証 (International Travelers Warranty; ITW)

注意事項

コンピュータを持って移動する際の注意に従ってください。海外へ旅行される場合は、上記の注意事項に加え、以下のヒントも役に立ちます。

- 海外で本ノートブック PC を使用する場合は、AC アダプタの電源コードが現地の AC 電圧で使用できるかどうかを確認してください。使用できない場合は、現地の AC 電圧で使用できる電源コードをご購入ください。市販の変圧器は使用しないでください。
- 海外でモデムを使用する場合は、モデムとコネクタが現地の通信システムと互換性を持たないことがありますので、ご注意ください。

セキュリティ機能

本ノートブック PC には厳重な管理を必要とする貴重な情報が保管されています。コンピュータを保護し、管理するための方法について説明します。

本ノートブック PC のセキュリティ機能は、ハードウェアロック (安全ノッチ) とソフトウェアロック (IC カードおよびパスワード) を含みます。

セキュリティキーロックの使用

このノートブックには Kensington 対応セキュリティスロットが搭載されています。

コンピューター用安全ロックのケーブルを机やロックした引き出しの取っ手などの動かないものにつなぎます。ロックをセキュリティキーロックノッチに挿入し、キーをまわしてロックを固定してください。キーを使用しないモデルもあります。

パスワード

パスワードはコンピュータを不正なアクセスから保護します。これらのパスワードを設定しておくと、コンピュータやデータを異なるレベルで保護することができます。

- スーパバイザパスワードを使って、BIOS ユーティリティへの不正アクセスを防ぐことができます。このパスワードを設定すると、BIOS ユーティリティにアクセスするためには同じパスワードを入力しなければなりません。**42 ページの「BIOS ユーティリティ」**を参照してください。

- ユーザパスワードを使って、本ノートブック PC が不正に使用されることを防ぐことができます。起動時およびハイバネーションモードから標準モードに戻る際のチェックポイントと組み合わせて、最大のセキュリティを提供します。
- ブート時にパスワードを使って、本ノートブック PC が不正に使用されることを防ぐことができます。起動時およびハイバネーションモードから標準モードに戻る際のチェックポイントと組み合わせて、最大のセキュリティを提供します。

重要！スーパバイザパスワードを忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまった場合は、弊社のカスタマーサポートセンターへご連絡ください。

パスワードの入力

パスワードが設定されると、パスワードプロンプトが画面の中央に表示されます。

- スーパバイザパスワードがセットされると、<**F2**> キーを押して BIOS ユーティリティにアクセスする際や起動するときにプロンプトが表示されます。
- スーパバイザパスワードを入力して <**Enter**> キーを押し、BIOS ユーティリティにアクセスしてください。間違ったパスワードを入力すると、警告メッセージが表示されます。もう 1 度入力し、<**Enter**> キーを押してください。
- ユーザパスワードがセットされて Password on boot パラメータが Enabled にセットされると、起動時にプロンプトが表示されます。
- ユーザパスワードを入力して <**Enter**> キーを押し、本ノートブック PC を使用してください。間違ったパスワードを入力すると、警告メッセージが表示されます。もう 1 度入力し、<**Enter**> キーを押してください。

重要！パスワードは 3 回まで入力できます。3 回間違って入力すると、本ノートブック PC は動作を停止します。電源ボタンを 4 秒間ほど押し続け、本ノートブック PC をシャットダウンしてください。もう 1 度電源を ON にし、パスワードを入力してください。

パスワードのセット

パスワードは BIOS ユーティリティを使って設定します。

オプションを使った拡張

本ノートブック PC は、モバイルコンピューティングに必要なすべての機能を提供しています。

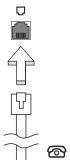
接続オプション

本ノートブック PC には、デスクトップ PC での操作と同じ要領で、周辺装置を接続することができます。各周辺装置の接続については、オンラインガイドをご参照ください。

Fax/ データモデム (特定モデルのみ)

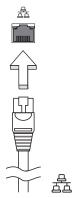
本ノートブック PC は、V.92 56 Kbps FAX/ データモデムを標準装備しています (特定モデルのみ)。

警告！このモデムポートは、デジタル電話線と互換性がありません。従って、このモデムをデジタル電話線に接続すると、モデムが破損することがあります。

FAX/ データモデムを使用するには、電話線をモデムポートから電話ジャックに接続してください。

警告！電話ケーブルは、本製品をご使用になる国が指定するものをお使いください。

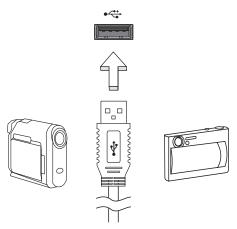
内蔵ネットワーク機能

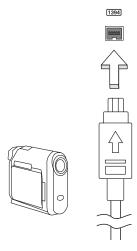
内蔵ネットワーク機能を使って、本ノートブック PC をイーサネットベースネットワークに接続することができます。

ネットワーク機能を使用するには、コンピュータのシャーシの Ethernet (RJ-45) ポートからネットワークジャック、またはネットワークのハブに Ethernet ケーブルを接続します。

赤外線 (CIR) ポート (特定モデルのみ)

CIR ポートはリモコンや CIR 機能を備えたその他のデバイスから信号を受信するために使用します。

USB

USB 2.0 ポートは、システムリソースを使わずに USB デバイスをつないで使用することを可能にする高速シリアルバスです。

IEEE 1394 ポート (特定モデルのみ)

本ノートブック PC の IEEE 1394 ポートには、ビデオカメラやデジタルカメラなどの IEEE 1394 サポートデバイスを接続することができます。詳細は、ビデオまたはデジタルカメラの資料をご参照ください。

高精彩マルチメディアインターフェイス
(特定モデルのみ)

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は業界がサポートする未圧縮のオールデジタル オーディオ / ビデオインターフェイスです。HDMI はセットトップボックス、DVD プレーヤー、A/V 受信装置などの対応するデジタルオーディオ / ビデオソースと、デジタル TV (DTV) などの対応するデジタルオーディオ / ビデオモニタを 1 本のケーブルで繋ぐインターフェイスです。

コンピュータの HDMI ポートを使ってハイエンドオーディオ / ビデオ装置に接続してください。1 本のケーブルで接続できますのでコンピュータ周りをすっきりと維持し、すばやく接続することができます。

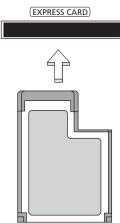
ExpressCard (特定モデルのみ)

ExpressCard は最新の PC カードです。これはコンピュータの使用可能性と拡張性を高める、より小さく、高速のインターフェースです。

ExpressCards はフラッシュメモリカード アダプタ、TV チューナー、ブルートゥース接続、IEEE 1394b アダプタなど、さまざまな拡張オプションに対応しています。ExpressCards は USB 2.0 と PCI Express アプリケーションに対応しています。

重要！ ExpressCard/54 と ExpressCard/34 (54mm と 34mm) の 2 種類があり、それぞれ異なる機能を備えています。ExpressCard スロットの中には両方のタイプに対応していないものもあります。
カードのインストール方法と使用方法については、カードの取り扱い説明書をお読みください。

ExpressCard の挿入

カードをスロットに挿入し、カチッという音がするまでゆっくりとカードを押してください。

ExpressCard の取り出し

ExpressCard を取り出す前に：

1 カードを使用するアプリケーションを終了してください。

2 タスクバー上のハードウェアの取り外しアイコンをクリックして、カードの使用を中止します。

3 カードをやさしくスロット側に押して放すと、カードが出てきます。以上でカードを安全に取り出すことができます。

BIOS ユーティリティ

BIOS ユーティリティはコンピュータの BIOS に組み込まれた、ハードウェア構成プログラムです。

本ノートブック PC は、すでに正確に設定されているので、セットアッププログラムを実行する必要はありません。しかし、設定に問題がある場合は、セットアッププログラムを実行することができます。

POST の最中のノートブック PC のロゴが表示されているときに <**F2**> キーを押して、BIOS ユーティリティにアクセスしてください。

起動シーケンス

BIOS ユーティリティで起動シーケンスを設定するには、BIOS ユーティリティをアクティブにし、画面の上に一覧表示されたカテゴリから **Boot** を選択します。

Disk-to-disk recovery 機能の実行

Disk-to-disk recovery 機能を実行するには (ハードディスク復元)、BIOS ユーティリティを有効にして、カテゴリーから **Main** を選択してください。画面の下部に **D2D Recovery** が表示されますので、**<F5>** キーと **<F6>** キーを使ってこの値を **Enabled** に設定してください。

パスワード

起動時にパスワードを設定するには、BIOS ユーティリティをアクティブにし、画面の上に一覧表示されたカテゴリから **Security** を選択します。**Password on boot**：を探し、**<F5>** キーと **<F6>** キーを使ってこの機能を有効にしてください。

ソフトウェアの使用

DVD コンテンツの再生

注意：この機能は一部のモデルでしかご使用いただくことができません。

DVD ドライブが光ドライブベイに取り付けられている場合は、本ノートブック PC で DVD コンテンツを再生することができます。

1　DVD を取り出します。

重要！ DVD プレーヤーを初めて使用するとき、プログラムは地域コードの入力を要求します。DVD ディスクは、6 地域に分けられています。地域コードをセットすると、その地域の DVD ディスクのみを再生します。地域コードは、最初のセットを含めて最高 5 回セットでき、5 回目にセットしたものを変更することはできません。ハードディスクを復元しても、設定した地域コードの回数はリセットされません。DVD 映画地域コードについては、次の表を参照してください。

2　数秒後、DVD 映画が自動的に再生されます。

地域コード	国または地域
1	米国、カナダ
2	ヨーロッパ、中東、南アフリカ、日本
3	東南アジア、台湾、韓国
4	ラテンアメリカ、オーストラリア、ニュージーランド
5	旧ソビエト連邦、アフリカの一部、インド
6	中国

注意：地域コードを変更するには、DVD ドライブに別の地域の DVD 映画を挿入してください。詳細は、オンラインヘルプを参照してください。

FAQ

本ノートブック PC を使用しているときに発生する可能性のあるトラブルとその対処方法をご説明いたします。

電源は入りますが、コンピュータが起動またはブートしません。

電源 LED をチェックしてください。

- 点灯していない場合は、電源が供給されていません。以下についてチェックしてください。
  - バッテリー電源で本ノートブック PC を動作している場合は、バッテリー充電レベルが低くなっている可能性があります。AC アダプタを接続してバッテリーパックを再充電してください。
  - AC アダプタが本ノートブック PC とコンセントにしっかりと接続されていることを確認してください。
- 点灯している場合は、以下についてチェックしてください。
  - フロッピードライブにブート可能ディスクでないディスク(非システム)が挿入されていませんか？システムディスクを挿入し、**<Ctrl> + <Alt> + <Del>** キーを同時に押して本ノートブック PC を再起動してください。

画面に何も表示されません。

本ノートブック PC のパワーマネージメントシステムは、電源を節約するために自動的に画面を OFF にします。任意のキーを押してください。

キーを押しても正常な状態にもどらない場合は、次の 3 つの原因が考えられます。

- 輝度レベルが低すぎる可能性があります。**<Fn> + <△>** (増加) キーを押して、輝度を調節してください。
- ディスプレイデバイスが外付けモニターにセットされている可能性があります。ディスプレイ切り替えホットキー **<Fn> + <F5>** を押し、ディスプレイを切り替えてください。
- スリープ LED が点灯している場合、本ノートブック PC はスリープモードに切り替わっています。電源ボタンを押し、標準モードに戻ってください。

オーディオ出力がありません。

以下について確認してください。

- ボリュームが上がっていない可能性があります。Windows 環境では、タスクバーのボリューム制御 (スピーカー) アイコンをチェックしてください。アイコンをクリックして、**全ミュート**機能を取り消してください。
- ボリュームレベルが低すぎる可能性があります。Windows でタスクバーのボリューム制御アイコンをチェックしてください。ボリューム制御ボタンを使って調節することもできます。
- ヘッドホン、イヤホンまたは外付けスピーカーが本ノートブック PC の右側のラインアウトポートに接続されている場合、内蔵スピーカーは自動的に OFF になります。

本 PC の電源が OFF の状態で光学ドライブトレイを取り出したい。

光学ドライブには、強制イジェントボタンがあります。ペンの先やクリップを挿入し、トレイを取り出してください。（スロット式の光学ドライブが搭載されたコンピュータにはイジェクトホールはありません。）

キーボードが動作しません。

外付けキーボードを本ノートブック PC の背面パネルにある USB コネクタに接続してください。これが動作する場合は、内部キーボードケーブルが損傷している可能性があります。弊社のカスタマーサービスセンターにご連絡ください。

プリンターが動作しません。

以下について確認してください。

- プリンターをコンセントにしっかりと接続し、電源を ON にしてください。
- プリンタ ケーブルがしっかりと USB ポートとプリンタの相当ポートに接続されていることを確認してください。

▼ リカバリー方法 (初期化方法) :

D2D（Disk to Disk）によるリカバリー方法をご説明します。

【注意】リカバリーにつきまして
リカバリーを実行すると、PC (C: ドライブ) に保存されているデータや設定などは全て消去されます。PC の起動が可能な場合には、リカバリーを始める前に必要なデータをバックアップされることをお勧めします。

※注意 : CD が挿入されている場合や、周辺機器が増設されている場合は、事前に外しておいてください。

1 電源を入れます。
2 Acer ロゴが画面に表示された直後に、[Alt] キーと [F10] キーを同時に押下します。
※「Acer eRecovery Management」が表示されない場合は、[Alt] キー [F10] キーを同時に複数回押してみてください。
3 「Acer eRecovery Management」にて「どのように復元しますか？」と表示されましたら、[システムを初期設定に復元します] をクリックします。
4 [Acer eRecovery Management パスワードを入力してください] と表示された場合は、パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。
5 [初期設定に復元します] と表示されましたら、AC アダプタが接続されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。
※ C ドライブが初期化されます。初期化をやめる場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。
6 [復元の確認] と表示されましたら、[OK] ボタンをクリックします。
※初期化をやめる場合は [キャンセルボタン] をクリックします。
7 「Acer eRecovery Management」にて「パーティションの復元」が始まります。残り時間が表示されますので、それまでしばらくお待ちください。
8 「終了しました」と表示されましたら、[OK] ボタンをクリックします。その後、自動で再起動されます。

アフターサービスについて

日本エイサーでは安心につながる 3 つのサポートをご用意しております。

国際旅行者保証 (International Travelers Warranty; ITW)

本ノートブック PC は、旅行の際の安全と安心を提供する国際旅行者保証 (ITW) が含まれています。世界各地にある弊社のサービスセンターでサービスを受けることができます。

本ノートブック PC には、ITW パスポートが付属しています。このパスポートには、サービスセンターのリストを含む ITW プログラムについてのご案内が記載されています。

サービスセンターでサービスを受ける場合は、このパスポートをお持ちください。パスポートのフロントカバーの内側にレシートを保管するポケットを設けました。

旅行先の国に弊社のサービスセンターがない場合でも、弊社の世界各地のオフィスに連絡することができます。**www.acer.com** にアクセスしてください。

インターネットサポート

下記の日本エイサーホームページよりサポートのページに行くことができます。「Q&A」や「よるある質問」など役に立つサポート情報を掲載しております。

日本エイサーホームページ：
http://www.acer.co.jp/

カスタマーサービスセンター

電話サポート：0570-016868

メールサポート：jcsd@acer.co.jp

※ E メールサポートにてお問い合わせ頂く際は、下記項目をご連絡ください。

- お名前
- メールアドレス
- お電話番号
- ご住所：(郵便番号)
- 製品名：(例：AS3103WLCiB80)
- 購入日：(年月日)
- 製造番号 (S/N)
- ノートパソコン：「L」で始まる 22 桁の英数字
- ディスクトップ：「P」で始まる 22 桁の英数字
- モニター：「E」で始まる 22 桁の英数字
- 症状：(できるだけ詳しく)

トラブル対策

この章では、発生する可能性のあるトラブルに対処する方法についてご説明いたします。問題が発生した場合は、技術者に問い合わせる前にこのセクションをお読みください。より 複雑な問題の場合は、コンピュータ内部を開く必要があるかもしれません。お客様ご自身で 絶対にコンピュータを開かないでください。販売店または専門のサービスセンターへ お問い合わせください。

トラブル対策のヒント

本ノートブック PC は、トラブルの解消を助けるエラーメッセージを表示します。

エラーメッセージが表示されたりトラブルが発生した場合は、「エラーメッセージ」を参照してください。トラブルを解消できない場合は、弊社のカスタマーサポートセンターへご連絡ください。**47 ページの「アフターサービスについて」**を参照してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたら、それを書き出して対処してください。次の表は、エラーメッセージをその対処と合わせてアルファベット順に説明します。

エラーメッセージ	対処方法
CMOS battery bad	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
CMOS checksum error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
Disk boot failure	システム (ブータブル) ディスクを挿入し、**<Enter>** を押してリブートします。
Equipment configuration error	POST の最中に **<F2>** キーを押して BIOS ユーティリティにアクセスしてください。次に **Exit** キーを押して終了し、本ノートブック PC を再設定してください。
Hard disk 0 error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
Hard disk 0 extended type error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
I/O parity error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
Keyboard error or no keyboard connected	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
Keyboard interface error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
Memory size mismatch	POST の最中に **<F2>** キーを押して BIOS ユーティリティにアクセスしてください。次に **Exit** キーを押して終了し、本ノートブック PC を再設定してください。

以上のように対処してもトラブルが解消されない場合は、弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

規制と安全通知

FCC 規定

この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、Class B デジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置はラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用されない場合、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。

しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証はいたしかねます。この装置がラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は (装置の電源を一度切って入れなおすことにより確認できます)、障害を取り除くために以下の方法にしたがって操作してください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
- この装置と受信装置の距離をあける
- この装置の受信装置とは別のコンセントに接続する
- ディーラーもしくは経験のあるラジオ /TV 技術者に問い合わせる

注意：シールドケーブル

本製品にほかの装置を接続する場合は、国際規定に準拠するためにシールド付きのケーブルをご使用ください。

注意：周辺機器

この装置には Class B 規定に準拠した周辺機器 (出入力装置、端末、プリンタなど) 以外は接続しないでください。規定に準拠しない周辺機器を使用すると、ラジオや TV 受信装置に障害を与えるおそれがあります。

警告

メーカーが許可しない解体や修正を行った場合は、FCC が規定するこのコンピュータを操作するユーザーの権利は失われます。

ご使用条件

Federal Communications Commission

各規格への準拠

このデバイスは FCC 規定の第 15 条に準拠しています。次の２つの条件にしたがって操作を行うことができます。(1) このデバイスが有害な障害を発生しないこと (2) 不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。

欧州連合諸国向け適合宣言

Acer は、このノート PC シリーズが指令 1999/5/EC の必須条件と、その他の関連条項に準拠していることを、ここに宣言します。(完全な文書については、**global.acer.com/products/notebook/reg-nb/index.htm** をご覧ください。)

モデムについてのご注意 (特定モデルのみ)

TBR 21

この装置は内における PSTN への単一端末接続に準拠しています [Council Decision 98/482/EC - "TBR 21"]。ただし国によって PSTN に違いがありますので、必ずしもすべての PSTN 端末で正しく操作できることを保証するものではありません。
問題が発生した場合は、ただちに装置をご購入されたショップへお問い合わせください。

LCD ピクセルについて

LCD ユニットは、極めて精密な製造テクノロジーで生産されています。しかし、ピクセルが黒または赤のドットとして表示されることがあります。これは、記録されているイメージには影響がなく、欠陥ではありません。

規制についての注意

注意：次の規制情報は、ワイヤレス LAN および Bluetooth 対応モデルのためのものです。

全般

ライセンスを取得したサービスの電波障害を防ぐために、このデバイスは室内で使用するよう設計されています。

本製品はワイヤレス機能の使用が認められた国および地域における、ラジオ周波数および安全規格に準拠しています。設定によって、本製品にはワイヤレスラジオ装置 (WLAN/Bluetooth モジュールなど) が含まれる場合と、含まれない場合があります。次の情報はこのような装置が含まれる製品のためのものです。

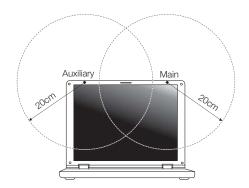
適用国リスト

2009 年 7 月現在の欧州連合の加盟国は次の通りです：ベルギー、デンマーク、ドイツ、ギリシャ、スペイン、フランス、アイルランド、ルクセンブルグ、オランダ、オーストリア、ポルトガル、フィンランド、スウェーデン、英国、エストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド、ハンガリー、チェコ共和国、スロバキア共和国、スロベニア、キプロス、マルタ、ブルガリア、ルーマニア。ヨーロッパ連合、ノルウェイ、スイス、アイスランド、リヒテンシュタインなどの国で使用することができます。このデバイスは、使用する国の規制と制約を遵守してご使用ください。詳細については、使用する国の地方事務所にお問い合わせください。最新国のリストについては、**ec.europa.eu/enterprise/rtte/implem.htm** を参照してください。

FCC RF の安全要件

ワイヤレス LAN ミニ PCI カードと Bluetooth カードの放射出力は、FCC 無線周波数の暴露限度をはるかに下回ります。しかし、ノートパソコンで通常に使用する際は、人体に接触する可能性を最小限に押さえてください：

1 RF オプションデバイスのユーザーマニュアルに記載された、ワイヤレスオプションデバイスの RF 安全指示に従ってください。

注意：FCC RF 暴露の準拠要件に準拠するために、画面セクションに組み込まれたワイヤレス LAN ミニ PCI カードのアンテナと人の間は、少なくとも 20 cm の間隔を置いてください。

注意：ワイヤレスミニ PCI アダプタには、送信ダイバシティ機能があります。この機能は、両方のアンテナから同時に無線周波数を放射しません。一方のアンテナが自動的にまたは手動で選択され、高品質の無線通信をご提供します。

2 このデバイスは、5.15 ～ 5.25 GHz の周波数範囲で作動し、使用は室内に制限されています。FCC は、同一チャンネルモバイル衛星システムに障害をおよぼす可能性を削減するために、本製品を 5.15 ～ 5.25 GHz の周波数範囲で、室内で使用していただくようご案内しております。

3 高出力レーダーは、5.25 ～ 5.35 GHz 帯域および 5.65 ～ 5.85 GHz 帯域の一時ユーザーとして割り当てられています。レーダー端末が電波障害を発生し、本デバイスを破損することがあります。

4 不適切な取り付けや不正使用は無線通信に障害を与える原因となります。また、内蔵アンテナを改造すると FCC 認可と保証が無効になります。

カナダ - 低出力ライセンス免除無線通信デバイス (RSS-210)

a 一般情報
以下の 2 つの使用条件があります :
1. 電波障害を起こさないこと、
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、すべての受信した電波障害に対して正常に動作すること。

b 2.4 GHz 帯での使用
ライセンスを取得したサービスの電波障害を防ぐために、このデバイスは室内で使用します。屋外に取り付けるにはライセンスが必要です。

c 5 GHz 帯での使用

- 帯域 5150 ～ 5250 MHz のデバイスは、同一チャンネルモバイル衛星システムに障害をおよぼす可能性を削減するために、室内でのみ使用します。
- 高出力レーダーは、5250 ～ 5350 MHz 帯域および 5650 ～ 5850 MHz 帯域の一次ユーザー (優先権を持っているユーザー) として割り当てられており、レーダーが電波障害を起こし、LELAN(ライセンス免除ローカル地域通信網) デバイスを破損することがあります。

LCD panel ergonomic specifications

Design viewing distance	500 mm
Design inclination angle	0.0°
Design azimuth angle	90.0°
Viewing direction range class	Class IV
Screen tilt angle	85.0°
Design screen illuminance	• Illuminance level: [250 + (250cosα)] lx where α = 85° • Color: Source D65
Reflection class of LCD panel (positive and negative polarity)	• Ordinary LCD: Class I • Protective or Acer CrystalBrite™ LCD: Class III
Image polarity	Both
Reference white: Pre-setting of luminance and color temperature @ 6500K (tested under BM7)	• Yn • u'n • v'n
Pixel fault class	Class II